

2022 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人オーシャンゲート ジャパン
活動テーマ	水際・水面における救命救助安全サポートプログラム



和歌山県方杭海岸において、水面や水際において、緊急時の救命救助の取り組みを、年間 10 回開催。しかし、台風とコロナ情報による混乱等もあり、参加者は 82 名にとどまる。私たちは台風や大雨、それによる河川の氾濫等の被害を毎年受けている。また、水のスポーツやレジャーにおける不慮の事故もあり、犠牲者が絶えない。不測の事態による被害や不慮の事故から、お互いが助け合い、人的被害を最小化することが、喫緊の課題である。水による人的被害を今できる範囲で最小化していくことが必要。海や河川等のスポーツやレジャーにおいても、不慮の事故に遭遇した場合、救急車を呼び、助かる命を助けるためのサポートが求められる。そのためには、水面で助けを求める人や溺者への対応と処置について、二次災害を避けつつ、溺者の引き上げ、心肺蘇生法や応急手当、ショック症状への対応、回復体位への移行等の技術と知識そして実践的な訓練が不可欠。一連の動きを順序立て、緊急時においても活かされる安全のための救命救助技術と知識をロールプレイングしながら習得することが目的。水面で救助を求める人や溺者を想定し、岸边からの安全な接近と、傍らにいる人々との連携方法。水面からの溺者への安全のアプローチ、浜辺までの仰向けの曳航、引き上げ後の人工呼吸の有無や胸骨圧迫の模擬対応。救急車の到着までの対処では、応急手当、ショックの軽減処置、そして回復体位への一連の流れは、日常生活に生かせる実践的な訓練となった。緊急時の救命救助行動は、家族や仲間だけでなく、救助を求める人々に遭遇した時にも、極めて大切な訓練であることを参加者と共に再認識できた。安全意識を持ち、各自が習得することにより、地域の安全をより深め、安心できる地域コミュニティの形成にもつながる。緊急時の救命救助の一連の流れを習得できる実践的で有効なプログラムとなった。